

Ⅱ－２【衛生環境試験所編】

事業の概要と実績

１ 試験検査

(1) 感染症等検査（平成8年度開始 平成30年度予算：12,492千円 一部国補助）

ア 感染症検査

【事業の目的・内容】

「感染症法」に基づき、ノロウイルスやロタウイルス等を原因とする感染性胃腸炎等の患者発生時に、病原体及び感染経路の解明と感染拡大防止のために、患者や接触者等の便等の検査を実施する。

(保健所編 感染症の発生・まん延防止対策の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》感染症検査実施状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
検体数		51	166	156
項目数計		73	166	219
検査項目	赤痢菌	-	1	3
	腸管出血性大腸菌	12	16	23
	ノロウイルス	39	138	125
	サポウイルス	-	-	21
	ロタウイルス	14	-	21
	アデノウイルス	8	-	21
	コレラ	-	2	-
	インフルエンザ	-	4	5
	結核	-	5	-

※医療機関から送付された菌株を含む（性状確認後、国へ送付）

イ 感染症発生動向調査事業に係る検査

【事業の目的・内容】

感染症発生動向調査は、「感染症法」に基づき、全国規模で実施されている。本市においても、医療機関の協力を得て、感染症の流行実態を早期かつ的確に把握することにより、予防措置を講ずることを目的に、病原体検査を実施する。

(保健所編 感染症発生動向調査事業 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12～16条 宇都宮市感染症発生動向調査事業実施要綱 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》感染症発生動向調査に係る検査実施状況

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
検体数		43	30	37
項目数計		52	38	37
検査項目	急性脳炎	10	8	9
	インフルエンザ	22	14	14
	麻しん	9	6	-
	風しん	9	6	-
	突発性発疹	-	-	-
	伝染性紅斑	-	2	-
	ライム病	-	1	-
	デング熱	-	1	-
	レジオネラ属菌	-	-	-
	レストスピラ症	2	-	-
	腸管出血性大腸菌	-	-	7
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌			7

※レプトスピラ症, ライム病検査は, 国に依頼

ウ HIV・性感染症検査

【事業の目的・内容】

感染症の早期発見・早期治療及び二次感染の防止を推進し, そのまん延を防止することを目的に検査を実施する。

(保健所編 エイズ・性感染症・ウイルス性肝炎の検査・相談 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 宇都宮市H I V ・性感染症・ウイルス性肝炎検査及び相談実施マニュアル 宇都宮市保健センターH I V ・性感染症・ウイルス性肝炎検査及び相談実施マニュアル 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》性感染症検査実施状況

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
受診者数		676	596	608
HIV 検査		662	590	591
梅毒検査		605	555	586
項目数	HIV 検査	1 次	590	591
		2 次	3	2
		確認	2	1
	梅毒検査	1 次	1,110	1,172
		2 次	1	-
	計		1,879	1,706

エ 結核菌感染診断検査 (クオンティフェロン (QFT) 検査) (平成 18 年度開始)

【事業の目的・内容】

結核については、地域的偏在や集団発生の散発等がみられ、これらに対応した保健医療体制の確保が要請されている。

QFT 検査は既往の BCG 接種の影響を受けないことから、感染者の接触者等二次患者の結核感染の有無の参考となる。効果的な予防・まん延防止のため、QFT 検査を実施する。

(保健所編 結核発生動向調査事業 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》 QFT (IGRA) 検査実施状況

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
受診者数		256	328	215
判 定	陽性	13	44	20
	判定保留	4	21	7
	陰性	239	263	188

オ 風しん抗体検査（平成 26 年度開始）

【事業の目的・内容】

「宇都宮市風しん抗体検査及び相談事業」により、検査及び相談や保健指導を実施し、風しん感染に対する不安の軽減を図るとともに、必要に応じた予防接種の勧奨を行い、先天性風しん症候群の発生を予防することを目的に検査を実施する。

(保健所編 風しん抗体検査・相談 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
宇都宮市風しん抗体検査及び相談実施要領 宇都宮市風しん抗体検査及び相談実施マニュアル	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
受診者数		325	259	250
EIA 価	8.0 以上	195	162	154
	8.0 未満	130	97	96

カ 利用水検査

【事業の目的・内容】

「レジオネラ症防止指針」に基づき、利用水のレジオネラ属菌の検査を実施する。また、衛生管理を評価・指導するため、「公衆浴場法」、「旅館業法」に基づき浴槽水の大腸菌群、「遊泳用プール衛生指導要綱」に基づき採暖槽水、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、冷却塔水の大腸菌の検査を実施する。

(保健所編 生活衛生施設等の監視・指導の充実 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
公衆浴場法，旅館業法， 建築物における衛生的環境の確保に関する法律， 宇都宮市遊泳用プール衛生指導要綱 等	生活衛生課 食品・環境衛生グループ

《実績》

① 利用水検査状況

検体	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
浴槽水	130	364	128	346	113	299
採暖槽水	8	32	8	32	6	24
冷却塔水	26	78	24	72	20	60
計	164	474	160	450	139	383

② 利用水検査項目

	浴槽水	採暖槽水	冷却塔水	計
レジオネラ属菌	113	6	20	139
大腸菌群数	90	-	-	90
大腸菌	-	6	20	26
アメーバ	96	6	20	122
一般細菌数	-	6	-	6
計	299	24	60	383

キ 国民健康栄養調査

【事業の目的・内容】

国民健康栄養調査に係る血液化学検査及び血糖検査に協力する。

(保健所編 国民健康・栄養調査の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
健康増進法 等	健康増進課 健康づくりグループ

《実績》

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
検体数	21	88*	20

※平成 28 年度は、国民健康栄養調査のほかに、県民健康栄養調査についても実施

(2) 食品等検査 (平成 8 年度開始 平成 30 年度予算 : 16,699 千円)

ア 食品収去等検査 (平成 8 年度開始)

【事業の目的・内容】

「食品衛生法」に基づき、保健所が食品衛生監視指導計画により実施する収去検査と買上げ検査，食中毒調査関連の検査を実施している。また，市内食品業者や中央卸売市場の包丁やまな板等のふきとり検査及び市内の食肉供給拠点施設の食肉汚染実態調査を実施する。

(保健所編 食品収去の実施 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
食品衛生法，乳及び乳製品の成分規格等に関する省令，宇都宮市農畜水産食品残留有害物質検査実施要領等	生活衛生課食品衛生グループ 食肉衛生検査所，中央卸売市場

《実績》食品等検査実施状況まとめ

依頼課	検査分類	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
		検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
生活衛生課	食品収去等	1,121	19,313	1,136	17,250	1,231	14,631
	食中毒	160	1,688	191	1,816	364	3,549
	苦情等	5	5	0	0	0	0
食肉衛生検査所	食肉の残留農薬	6	18	6	18	6	18
保健所総務課	家庭用品	23	26	23	26	23	26
中央卸売市場	放射性物質	0	0	1	1	0	0

※ H29 年度食品収去等内訳：買上げ(20 検体, 80 項目), ふき取り(61 検体, 122 項目)を含む。

《項目別実績》

① 微生物検査の実施状況

生鮮食品や加工品等について，成分規格，衛生規範，その他衛生状態の確認等に係る細菌等の検査を行う。

	冷凍食品	弁当・そうざい	魚介類及び加工品	肉類及び加工品	野菜及び加工品	麺類	菓子類	清涼飲料水	氷菓	いけすの水	ふきとり	計
検体数	39	100	90	21	40	23	80	13	4	37	61	508
項目数計	78	270	135	63	110	69	240	13	8	37	122	1,145
細菌数	39	100	15		10	23	80		4			271
大腸菌群	23		27			7	80	13	4		61	215
大腸菌 (E.coli)	16	85		21	30	16						168
大腸菌最確数			15									15
腸管出血性大腸菌					40							40
腸球菌												0
緑膿菌												0
黄色ブドウ球菌		85		21		23	80					209
サルモネラ属菌				21								21
腸炎ビブリオ					30					37	61	128
腸炎ビブリオ最確数			60									60
クロストリジウム属菌												0
カンピロバクター属菌												0
リステリア												0
ノロウイルス			15									15
真菌												0
アニサキス			3									3

〔結果〕衛生規範不適合：洋生菓子(大腸菌群検出 5 件)，弁当・そうざい(E.coli 検出 3 件，細菌数超過 3 件)，めん類(大腸菌群検出 1 件，細菌数超過 1 件)

成分規格違反：なし

そ の 他：いけすの水 (腸炎ビブリオ検出 1 件)，ふきとり (大腸菌群検

出 36 件), 生食用魚介類 (アニサキス 1 件検出)

② 食品添加物検査実施状況

加工食品に使用される保存料や甘味料, 着色料等の食品添加物の使用基準の検査を行った。

		そうざい	魚介類及び加工品	肉類及び加工品	果実及び加工品	野菜及び加工品	豆類及び加工品	穀類及び加工品	麺類	菓子類	清涼飲料水	調味料	酒精飲料	計
検体数		14	72	21	36	67	17	5	16	40	13	20		321
項目数計		54	728	63	408	855	44	65	16	116	26	40		2,415
保存料	ソルビン酸	28	53	20	29	67	14	5				12		228
	安息香酸										13			13
	パラオキシ安息香酸エステル類										13	8		21
甘味料	サッカリンナトリウム	14	27			50	7					20		118
	サイクラミン酸									40				40
発色剤	亜硝酸根		24	21										45
漂白剤	二酸化硫黄				19	6	11							36
品質保持剤	プロピレングリコール								16					16
酸化防止剤	TBHQ									40				40
合成着色料	酸性タール系色素 12 種類	12	624	22	348	732	12	60		36				1,846
防かび剤	イマザリル				3									3
	ジフェニル				3									3
	オルトフェニルフェノール				3									3
	チアベンダゾール				3									3

[結果]使用基準:食肉製品 (亜硝酸根超過 1 件), 漬物 (サッカリン検出 1 件, タール色素検出 1 件)

③ 乳及び乳製品検査実施状況

乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づき, 成分規格の検査を行った。

	牛乳	低脂肪牛乳	乳飲料	発酵乳 乳酸菌飲料	アイスクリーム類	計
検体数	13		15	20	16	64
項目数計	78		30	60	32	200
細菌数	13		15		16	44
大腸菌群	13		15	20	16	64
酵母及び 乳酸菌数				20		20
比重	13					13
酸度	13					13
乳脂肪分	13					13
乳固形分						0
無脂乳固形分	13			20		33

[結果]成分規格:発酵乳(無脂乳固形分不足 1 件)

④ 残留農薬検査の実施状況

食品中に残留する農薬などが、基準を超えて人の健康に害を及ぼすことのないよう、規格基準の検査を行った。

残留農薬の検査可能項目一覧[304項目]

1	2-(1-ナフチル) アセタミド	78	※クロランスラムメチル	155	デルタメトリン及びトラロメトリン	232	フルチアセトメチル
2	BHC	79	クロリダゾン	156	テルブトリン	233	フルトラニル
3	・DDT	80	クロルエトキシホス	157	テルブホス	234	フルトリアホール
4	E.P.N	81	クロルタールジメチル	158	トリアジメノール	235	フルバリネート
5	※MCPB	82	クロルピリホス	159	トリアジメホス	236	フルフェノクスロン
6	TCMTB	83	クロルピリホスメチル	160	トリアゾホス	237	フルフェンピルエチル
7	XMC	84	クロルフェナピル	161	トリアレート	238	フルミオキサジン
8	γ-BHC (リンデン)	85	※4-クロルフェノキシ酢酸 (4-CPA)	162	※トリクロピル	239	フルミクロラックベンチル
9	※アイオキシニル	86	クロルフェンソン	163	トリシクラゾール	240	※フルメツラム
10	アクリナトリン	87	クロルフェンビンホス	164	トリブホス	241	フルリドン
11	アザコナゾール	88	クロルプロファム	165	トリフルラリン	242	※フルロキシピル
12	アザメチホス	89	クロルフルアズロン	166	トリフロキシストロピン	243	プレチラクロール
13	※アシフルオルフェン	90	クロルプロファム	167	トルクロホスメチル	244	プロシモン
14	アジンホスメチル	91	クロルベンシド	168	トルフェンピラド	245	プロチオホス
15	アセタミプリド	92	クロロネブ	169	※1-ナフタレン酢酸	246	プロバジン
16	★アセフェート	93	クロロベンジレート	170	ナプロアニリド	247	プロバニル
17	アゾキシストロピン	94	シアナジン	171	ナプロパミド	248	プロバホス
18	アトラジン	95	シアノホス	172	ニトタールイソプロピル	249	プロバルギッド
19	アニロホス	96	ジウロン	173	バクプロトラゾール	250	プロピコナゾール
20	アメトリン	97	ジエトフェンカルブ	174	パラチオン	251	プロビザミド
21	アラクロール	98	ジオキサチオン	175	パラチオンメチル	252	プロヒドロジヤスモン
22	アラマイト	99	ジクロシメット	176	ハルフェンブロックス	253	プロフェノホス
23	・アルドリン及びディルドリン	100	※ジクロスラム	177	※ハロキシホップ	254	プロボキシル
24	アレスリン	101	ジクロトホス	178	ピコリナフェン	255	プロマシル
25	イサゾホス	102	ジクロフェンチオン	179	ピテルタノール	256	プロメトリン
26	イソキサチオン	103	ジクロフルアニド	180	ピフェノックス	257	※プロモキシニル
27	イソキサチオンオキソン	104	ジクロホップメチル	181	ピフェントリン	258	プロモプロピレート
28	イソフェンホス	105	ジクロラン	182	ピペロニルブトキシド	259	プロモホス
29	イソプロカルブ	106	※ジクロルブロップ	183	ピペロホス	260	プロモホスエチル
30	イソプロチオラン	107	ジコホール	184	ピラクロホス	261	ヘキサコナゾール
31	イソバリカルブ	108	ジスルホトン	185	ピラゾホス	262	ヘキサジノン
32	イソペンホス	109	シデュロン	186	ピラゾリネート	263	ヘキサフルムロン
33	※イマザキン	110	シニドシエチル	187	ピラフルフェンエチル	264	ベナラキシル
34	イマザメタベンズメチルエステル	111	シハロトリン	188	ピリダフェンチオン	265	ベノキサコール
35	イマザリル	112	シハロホップブチル	189	ピリダベン	266	・ヘプタクロル
36	イミダクロプリド	113	ジフェナミド	190	ピリフェノックス	267	ペルタン (エチラン)
37	イミベンコナゾール	114	ジフェノコナゾール	191	ピリフタリド	268	ペルメトリン
38	インドキサカルブ	115	シフルトリン	192	ピリブチカルブ	269	ペンコナゾール
39	エスプロカルブ	116	シフルフェナミド	193	ピリプロキシフェン	270	ベンスリド
40	エタルフルラリン	117	ジフルフェニカン	194	ピリミカーブ	271	ベンゾフェナップ
41	エチオフェンカルブ	118	ジフルベンズロン	195	ピリミノバックメチル	272	ベンダイオカルブ
42	エチオン	119	シプロコナゾール	196	ピリミホスメチル	273	ペンディメタリン
43	エディフェンホス	120	シベルメトリン	197	ピリメタニル	274	ペンフルラリン
44	エトキサゾール	121	シマジン	198	ピロキロン	275	ペンフレセート
45	エトフェンブロックス	122	シメコナゾール	199	ピンクロゾリン	276	ホサロン
46	エトプロホス	123	ジメタメトリン	200	フィブロニル	277	ホスチアゼート
47	エトリムホス	124	ジメチピン	201	フェナミホス	278	ホスファミドシ
48	エボキシコナゾール	125	ジメチリモール	202	フェナリモル	279	ホスメット
49	エンドスルファン	126	ジメテナミド	203	フェニトロチオン	280	※ホメサフェン
50	エンドスルフォンスルフェート	127	ジメトエート	204	フェノキサニル	281	※ホルクロルフェニユロン
51	エンドリン	128	シメトリン	205	フェノキシカルブ	282	ホルモチオン
52	オキサジアゾン	129	ジメビレート	206	フェノチオカルブ	283	ホレート
53	オキサジキシル	130	シラフルオフェン	207	フェノトリン	284	マラチオン
54	オキサミル	131	スピロキサミン	208	フェノブカルブ	285	マイクロブタニル
55	オキシカルボキシン	132	スピロジクロフェン	209	フェリムジン	286	メカルバム
56	オキシフルオルフェン	133	ゾキサミド	210	フェンアミドシ	287	※メコブロップ
57	オリザリン	134	ターバシル	211	フェンクローホス	288	メタラキシル及びメフェノキサム
58	カズサホス	135	ダイアジノン	212	フェンスルホチオン	289	★メタミドホス
59	カフェンストロール	136	ダイアレート	213	フェントエート	290	メチダチオン
60	カルバリル	137	ダイムロン	214	フェンバレレート	291	メトキシクロル
61	カルフェントラゾンエチル	138	チアクロプリド	215	フェンブコナゾール	292	※メトキシフェノジド
62	カルプロバミド	139	チアメトキサム	216	フェンプロバトリン	293	メトブレン
63	カルボフラン	140	チオベンカルブ	217	フェンプロピモルフ	294	メトミノストロピン
64	キサロホップエチル	141	チオメトン	218	フェンメディファム	295	メトラクロール
65	キナルホス	142	※チジアズロン	219	フサライド	296	メベンホス
66	キノキシフェン	143	チフルザミド	220	ブタクロール	297	メフェナセット
67	キノクラミン	144	テクナゼン	221	ブタフェナシル	298	メフェンビルジエチル
68	キャブタン	145	テトラクロルピホス	222	ブタミホス	299	メブロニル
69	キントゼン	146	テトラコナゾール	223	ブピリメート	300	モノクロトホス
70	クレソキシムメチル	147	テトラジホシ	224	ブプロフェジン	301	ラクトフェン
71	クロキントセットメキシル	148	テニルクロール	225	ブラチオカルブ	302	ルフエスロン
72	クロゾリネート	149	テブコナゾール	226	フラムブロップメチル	303	レスメトリン
73	クロチアニジン	150	テブフェノジド	227	フルアクリピリム	304	レナシル
74	※クロブロップ	151	テブフェンピラド	228	フルキンコナゾール		
75	クロマゾン	152	テフルトリン	229	フルジオキシニル		
76	クロマフェノジド	153	テフルベンズロン	230	フルシトリネート		
77	クロメブロップ	154	デメトン-S-メチル	231	フルシラゾール		

・肉中の残留農薬として検査実施 ※農産物でのみ検査実施 ★輸入冷凍食品でのみ検査実施

残留農薬検査の実施状況

検体名	検体数	項目数計
かんきつ類	3	846
輸入野菜	2	580
アスパラガス	6	1,650
トマト	6	1,728
日本なし	6	1,698
にら	6	1,752
いちご	6	1,728
国産牛肉, 豚肉	6	18
輸入牛肉, 豚肉, 鶏肉	6	18
冷凍食品	0	0
計	47	10,018

[結果]残留基準:超過無し

※残留農薬とは、農薬を使用した結果、食品や農産物あるいは動物飼料から検出されるあらゆる物質で、変換産物、代謝産物、反応産物、不純物など、農薬から生じた毒性学的に重要と思われるあらゆる派生物が含まれる。

⑤ 動物用医薬品検査

動物用医薬品が食品中に基準値を超えて残留していないか使用基準の検査を行う。

				あ ゆ	鶏 卵	輸 入 牛 豚 鶏 肉	は ち み つ	生 乳	計
検体数				5	5	6	2	340	358
項目数計				140	145	165	8	340	798
合成抗菌剤等 28 項目	エトパペート	スルファジメトキシ	スルフィソキサゾール	120	125	141			386
	エンロフロキサシン	スルファチアゾール	ダノフロキサシン						
	オキシリニック酸	スルファドキシ	チアベンダゾール						
	オフロキサシン	スルファニトラン	チアンフェニコール						
	オルメトプリム	スルファピリジン	トリメトプリム						
	酢酸メレンゲステロール	スルファメトキサゾール	ピリメタミン						
	スルファキノキサリン	スルファメキピリダジ	フルベンダゾール						
	スルファクロピリダジ	スルファメラジ	5-プロピルスルホニル-1H-ベンズイミダゾール-2-アミン						
	スルファジアジ	スルファモノメトキシ	レバミゾール						
	スルファジミジ								
抗生物質 (スクリーニング) 5 項目	マクロライド系	アミノグリコシド系		20	20	24	8		72
	ペニシリン系	テトラサイクリン系							
	ベンジルペニシリン								
								340	340

[結果]残留基準:超過無し

※動物用医薬品とは、治療・予防・診断目的で、あるいは生理的機能や挙動を改変する目的で、食肉用家畜や乳用家畜、家禽類、魚類、蜂など食品生産に用いられるあらゆる動物に適用もしくは投与されるあらゆる物質。

⑥ 食品に残留する有害物質検査

	清涼飲料水	魚介類	生あん	計
検体数	2	20	3	25
項目数	2	80	3	85
総水銀(メチル水銀含む)		20		20
有機スズ (TBTO, DBT, TPT)		60		60
カビ毒 (パツリン)	2			2
シアン			3	3

[結果] 暫定基準: 全て基準超過等無し

⑦ 遺伝子組換え食品検査

安全が確認されていない遺伝子組換え食品の発見と、適正表示確認のための検査を実施している。なお、我が国での安全性審査により安全性が確認された遺伝子組換え食品についても組換え DNA(遺伝子)の含有量の確認を行う。

		コーンフラワー
検体数		2
項目数		4
定性	CBH351, Bt10	4
定量	Bt11, Event176, T25, Mon810, GA21	0

[結果] 定性試験: 全て陰性, 定量検査: 混入率が5%を超えるもの無し

⑧ アレルギー物質(特定原材料)を含む食品検査

食品製造過程におけるアレルギー物質の混入を防ぐため、表示義務のある7品目の特定原材料(小麦, そば, 卵, 乳, 落花生, えび, かに)のうち、市内の製造工場で製造されている食品について検査を実施する。

	麺類	菓子類	魚肉ねり製品	そうざい等	計
検体数	19	7	3	11	40
項目数	19	7	3	11	40
そば	19				19
えび, かに		7	3	11	21

[結果] 表示義務のある特定原材料の基準量 10 μg/g を超える特定原材料の混入無し

⑨ 容器包装の検査実施状況

食品用器具・容器包装は食品と直接接触して使用されることから、化学物質等の溶出により食品が汚染されないよう配慮する必要があることから、規格基準検査を実施する。

		容器包装
検体数		8
項目数計		40
材質試験	カドミウム, 鉛	16
溶出試験	蒸発残留物, 過マンガン酸カリウム消費量, 重金属	24

[結果] 全て基準に適合

⑩ 食中毒(疑)関連検査の実施状況

食中毒及びその疑いがある事例について、便や食品等の検査を行う。

	食中毒				計
	食品	水	ふきとり	便	
検体数	124	0	105	135	364
項目数計	968	0	1,150	1,431	3,549
赤痢菌	83	0	105	126	314
サルモネラ属菌	83	0	105	126	314
ビブリオ属菌	83	0	105	126	314
黄色ブドウ球菌	83	0	105	126	314
病原大腸菌	83	0	105	126	314
カンピロバクター	83	0	105	126	314
ウェルシュ菌	90	0	105	126	321
セレウス菌	83	0	105	126	314
エルシニア菌	83	0	105	126	314
腸管出血性大腸菌 0157	83	0	105	126	314
ノロウイルス	39	0	73	110	222
ノロウイルス遺伝子型別	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0
真菌	0	0	0	0	0
その他	92	0	27	61	180

食中毒と断定された事件のうち、当所に検査依頼のあったものまとめ

発生月	喫食者数	患者数	原因施設	原因食品等	病因物質	病因物質検出率
5月	273	137	活動施設の飲食店	飲食店の料理	エシェリキア・アルベ ルティイ	食品 6/63 拭取り 0/15 便 13/34
6月	1	1	飲食店	飲食店の料理	アニサキス	食品 2/5
12月	417	177	ホテルの飲食店	ホテルの料理	ノロウイルス	便 29/46 食品 1/19 拭取り 0/20
2月	22	8	飲食店	飲食店の料理	ノロウイルス	便 1/10 拭取り 0/20

⑪ 放射性物質検査

食品の収去検査として、放射性物質について検査を実施する。

依頼年月日	内容	検体数	項目数計	検査項目	検査結果
H29.4.10	たけのこ	1	1	放射性セシウム	定量下限値未満
H29.4.17	たけのこ	2	2	放射性セシウム	定量下限値未満
計		3	3		

イ 家庭用品検査

【事業の目的・内容】

家庭用品には、いろいろな種類の化学物質が様々な目的で使用されており、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、家庭用品に含まれる化学物質による健康被害を未然に防止するため検査を実施する。

(保健所編 家庭用品試買検査 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》家庭用品等の検査実施状況

	繊維製品 (24ヶ月未満)	家庭用エアゾル製品	計
検体数	20	3	23
項目数計	20	6	26
ホルムアルデヒド	20		20
トリクロロエチレン		3	3
テトラクロロエチレン		3	3

[結果]全て基準に適合

(3) 環境検査 (平成 8 年度開始 平成 30 年度予算 : 8,899 千円 市単独)

市民が健康で安心、快適に暮らせるよう環境保全業務として、環境保全課の依頼により、河川等の公共水域や地下水、工場排水、ゴルフ場排水等の水質検査、工場・事業場等のばい煙や排出ガス中の揮発性有機化合物(VOC)濃度及び騒音・振動等の測定を実施している。

また、廃棄物対策課の依頼により、最終処分場周辺地下水等の水質調査や埋立地浸出水の水質検査、廃棄物の溶出試験等を実施している。

さらに、生活衛生業務として生活衛生課の依頼により、公衆浴場や採暖槽水及び冷却塔水等の水質検査を実施している。

ア 環境保全課関係

(ア) 水質検査

【事業の目的・内容】

① 公共用水域

河川事故等による水質異常等の発生時に「水質汚濁防止法」に基づき、河川等公共用水の検査を実施する。

② 地下水

テトラクロロエチレン等の揮発性有機化合物や六価クロム等の重金属類等による地下水汚染状況を調査するため、「地下水の水質汚染に係る環境基準」に基づき、地下水の水質検査を実施する。

③ 工場排水

「水質汚濁防止法」の排水基準監視のため、特定事業所等排水の水質検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
水質汚濁防止法，地下水の水質汚染に係る環境基準 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》環境保全課関係水質検査実施状況のまとめ

検査分類	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
公共用水	8	14	23	42	14	55
地下水	29	112	41	132	26	76
工場排水	77	455	86	478	84	483
計	114	581	150	652	124	614

◇環境保全課関係水質検査項目一覧[53項目]

生活環境項目	1	pH	6	フェノール類	11	クロム
	2	BOD	7	銅	12	大腸菌群数
	3	COD	8	亜鉛	13	全窒素
	4	SS	9	溶解性鉄	14	全りん
	5	n-ヘキサン抽出物質	10	溶解性マンガン		
健康項目	15	カドミウム	25	1,2-ジクロロエタン	35	チオベンカルブ
	16	シアン	26	1,1-ジクロロエチレン	36	ベンゼン
	17	鉛	27	シス-1,2-ジクロロエチレン	37	セレン
	18	六価クロム	28	1,1,1-トリクロロエタン	38	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
	19	ヒ素	29	1,1,2-トリクロロエタン	39	硝酸性窒素
	20	総水銀	30	トリクロロエチレン	40	亜硝酸性窒素
	21	アルキル水銀	31	テトラクロロエチレン	41	ふっ素
	22	PCB	32	1,3-ジクロロプロペン	42	ほう素
	23	ジクロロエタン	33	チウラム	43	1,4-ジオキサン
その他	24	四塩化炭素	34	シマジン		
	44	アンモニア性窒素合計量	48	過マンガン酸カリウム消費量	51	全鉄
	45	アンモニア性窒素	49	有機物(TOC)	52	第一鉄
	46	DO	50	硬度	53	農薬(定性)
	47	電気伝導率				

(イ) ゴルフ場農薬検査

【事業の目的・内容】

「ゴルフ場の農薬使用に係る水質調査実施要領」に基づき、10か所のゴルフ場について排水等の水質検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》ゴルフ場農薬検査実施状況のまとめ

検査分類	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
計	15	285	15	285	13	291

◇ゴルフ場農薬の検査項目一覧[31項目]

殺虫剤	1	EPN	5	クロチアニジン	9	チアメトキサム
	2	アセタミプリド	6	クロラントラニプロール	10	フェニトロチオン(MEP)
	3	イソキサチオン	7	ジノテフラン	11	フルベンジアミド
	4	イミダクロプリド	8	ダイアジノン	12	ペルメトリン
殺菌剤	13	アゾキシストロビン	17	クロタロニル(TPN)	21	フルキサピロキサド
	14	インプロチオラン	18	チウラム(チラム)	22	プロピコナゾール
	15	イプロベンホス(IBP)	19	チフルザミド	23	ペンシクロン
	16	オキシシン銅(有機銅)	20	テブコナゾール	24	メプロニル
除草剤	25	アシュラム	28	フルポキサム	31	MCPKカリウム塩, MCPKジメチルアミン塩, メコプロップPイソプロピルアミン塩 及びメコプロップPカリウム塩
	26	シマジン(CAT)	29	プロピザミド		
	27	トリクロピル	30	ペンディメタリン		

(ウ) 大気検査

【事業の目的・内容】

① ばい煙測定

「大気汚染防止法」に基づき、特定施設等のばい煙測定を実施する。

② VOC濃度測定

「大気汚染防止法」に基づき、特定施設等の排出ガス中のVOC濃度の測定を実施する。

③ 悪臭検査

「悪臭防止法」に基づき、特定施設及び施設周辺の測定を実施する。

根拠法令等	依頼課・グループ
大気汚染防止法，悪臭防止法等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》大気等検査実施状況のまとめ

検査分類	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
ばい煙※	6	59	4	40	5	49
VOC濃度	3	3	3	3	2	2
臭気測定	-	-	2	2	3	3
計	9	62	9	45	10	54

※ばい煙検査項目一覧

ばい煙項目	硫黄酸化物	ばいじん量	酸素濃度
	窒素酸化物	排ガス流速	静圧
	湿り排ガス量	排ガス温度	鉛及びその化合物
	乾き排ガス量	塩化水素	

(エ) 騒音・振動検査

【事業の目的・内容】

市民からの相談による現場調査時に「騒音規制法」，「振動規制法」，「低周波音問題対応の手引書」に基づき，騒音・振動等の測定を行う。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
騒音規制法，振動規制法 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》騒音・振動等検査実施状況のまとめ

検査分類	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
騒音	3	6	-	-	1	1
振動	-	-	-	-	-	-
低周波	-	-	-	-	-	-
計	3	6	0	0	1	1

(オ) 土壌等検査

【事業の目的・内容】

「土壌汚染対策法」に基づき，土壌検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
土壌汚染対策法，底質調査方法 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》土壌等検査実施状況のまとめ

検査分類	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
土壌	6	12	10	32	-	-
底質	4	4	-	-	-	-
計	10	16	10	32	0	0

イ 廃棄物対策課関係

【事業の目的・内容】

(ア) 最終処分場周辺地下水及び埋立地浸出水等の水質検査

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき，最終処分場周辺地下水等と埋立地浸出水の水質検査を実施する。

(イ) 土壌検査

「栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に基づき，土砂等の検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
廃棄物の処理及び清掃に関する法律，栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例 等	環境部廃棄物対策課 指導グループ

《実績》廃棄物対策課関係検査等実施状況のまとめ

検査分類	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
水質	165	1,689	164	1,700	166	1,704
土砂等	-	-	-	-	-	-
計	165	1,689	164	1,700	166	1,704

◇廃棄物対策課関係検査項目一覧[浸出水：10項目]

水素イオン濃度	ひ素	ほう素
鉛	カドミウム	1,4-ジオキサン
六価クロム	ふっ素	BOD
総水銀		

◇廃棄物対策課関係検査項目一覧[地下水:42項目]

有害物質関係項目	カドミウム	シアン	鉛
	六価クロム	ヒ素	総水銀
	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン
	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン
	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエチレン	1,1,2-トリクロロエタン
	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	セレン
	ほう素	ふっ素	アンモニア性窒素合計量
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	亜硝酸性窒素
	アンモニア性窒素		
	生活環境項目	pH	BOD
SS		n-ヘキサン抽出物質	フェノール類
銅		亜鉛	溶解性鉄
溶解性マンガン		クロム	大腸菌群
全窒素		全りん	
その他	残留塩素	電気伝導率	DO

ウ 生活衛生課関係

【事業の目的・内容】

「公衆浴場法」、「旅館業法」に基づく浴槽水、「遊泳用プール衛生指導要綱」に基づく採暖槽水、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく冷却塔水の水質検査を実施する。

(保健所編 生活衛生施設等の監視・指導の充実 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
公衆浴場法, 旅館業法, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律, 宇都宮市遊泳用プール衛生指導要綱 等	生活衛生課 食品・環境衛生グループ

《実績》利用水検査状況まとめ

検査分類	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
浴槽水	115	230	108	216	90	180
採暖槽水	8	24	8	24	6	18
冷却塔水	26	26	24	24	20	20
計	149	280	140	264	116	218

◇利用水質検査項目一覧[3項目]

pH	濁度	過マンガン酸カリウム消費量
----	----	---------------

エ 保健所総務課関係

【事業の目的・内容】

(ア) 保健所下水検査

「下水道法」及び「工場・事業場排水等自主管理要領」に基づき、保健所下水の水質検査を月1回実施する。

(イ) 保健所給水栓検査

「水道法」に基づき、保健所の給水栓の水質検査を週1回実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
下水道法, 水道法 等	保健所総務課企画グループ

《実績》保健所総務課関係水質検査実施状況のまとめ

検査分類	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
保健所下水	12	132	12	132	12	132
給水栓	53	265	52	260	52	260
計	65	397	64	392	64	392

◇保健所下水水質検査項目一覧[11項目]

pH	銅	総水銀	アンモニア性窒素
六価クロム	亜鉛	ほう素	硝酸性窒素及び
鉛	シアン	ふっ素	亜硝酸性窒素

◇保健所給水栓水質検査実施項目一覧[5項目]

色	濁り	臭気	味	残留塩素
---	----	----	---	------

オ その他

関係課からの依頼により、臨時検査等を実施した。(環境保全課依頼は、再掲)

	依頼	依頼課	検体	検体数	項目数
1	4月	廃棄物処理施設整備室	地下水	1	21
2	5月	環境保全課	事業場排気	3	3
3	5月	スポーツ振興課	地下水	2	2
4	5月	廃棄物施設課	コンデンサー絶縁油	1	1
5	8月	スポーツ振興課	地下水	2	2
6	9月	環境保全課	水路水	1	2
7	11月	環境保全課	工場排水	1	2
8	12月	環境保全課	河川水	1	29
9	3月	スポーツ振興課	放流下水	1	1
10	3月	スポーツ振興課	放流下水	1	1
11	3月	環境保全課	騒音	1	1
計				15	65

(4) 精度管理

試験データの信頼性を確保するためには、試験所の組織的な管理体制の確立(G L P)や、技能試験(外部精度管理)への参加、内部精度管理の実施、分析法の妥当性確認等が必要である。

そこで、技能確認のため外部機関が実施する外部精度管理調査に定期的に参加するとともに、検査業務や機器の点検整備の記録等についての内部点検、検査技術の研鑽等を目的とした内部精度管理を実施している。

ア 外部精度管理

【事業の目的・内容】

(ア) 感染症検査部門

病原体等検査の質を確保するため、平成28年4月から施行された改正感染症法に基づく「検査施設における病原体等検査の業務管理要領」等により、病原体等検査部門責任者(微生物グループ係長)を設置して業務管理を行っている。また、国立感染症研究所などが実施する精度管理調査等に参加し、検査を実施している。

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 施行規則、検査施設における病原体等検査の業務管理要領 平成29年度外部精度管理事業実施要綱	衛生環境試験所 理化学グループ

《実績》

精度管理主催	検 体	検査項目		実施月
厚生労働省 外部精度管理事業 事務局	パネル検体	核酸検出検査	A型インフルエンザ の亜型診断検査	7月
			鳥インフルエンザの 亜型診断検査	
厚生労働省 外部精度管理事業 事務局	パネル検体	血清型別、毒素検出	腸管出血性大腸菌	10月
厚生労働科学研究 レジオネラ属菌検査 外部精度管理調査	標準菌株	レジオネラ属菌 定量	レジオネラ属菌	10月
厚生労働科学研究 公益財団法人 結核予防会結核研究所 抗酸菌部	結核菌 DNA	結核菌遺伝子型別	結核菌 VNTR 解析	1月

(イ) 食品検査部門

「宇都宮市食品衛生検査業務管理要領」及び「精度管理の一般ガイドライン」に

基づき、検査部門責任者（衛生環境試験所長）を設置して試験検査に係る業務管理に取り組んでいる。

食品については、信頼性確保部門責任者の依頼により、一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所食品衛生事業部の外部精度管理調査室で調製した検体について、検査精度の確認のための検査を実施する。

また、食中毒関連細菌検査については、栃木県試験検査精度管理委員会で実施する精度管理調査に参加し、技能確認を実施する。

（保健所編 食品衛生検査業務管理 参照）

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
食品衛生法第29条第2項，食品衛生法施行規則，宇都宮市食品衛生検査業務管理要領 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》

精度管理主催	検体	検査項目		実施月
栃木県 試験検査精度管理調査	菌液模擬試料	細菌検査	菌の分離・同定	9月
一般財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所 食品衛生事業部外部精 度管理調査室	ハンバーグ	菌同定	E. coli（定性）	6月
	ゼラチン基材	菌数測定	一般細菌数（定量）	7月
	マッシュポテト	菌同定	黄色ブドウ球菌（定性）	9月
	とうもろこし ペースト	残留農薬	クロルピリホス フェントエート	6月
	シロップ	食品添加物	安息香酸	7月
	果実ペースト	食品添加物	着色料	11月

（ウ）環境検査部門

【事業の目的・内容】

水質試験について、栃木県試験検査精度管理委員会で実施する精度管理調査に参加し、技能確認を実施する。

《実績》

精度管理主催	検体	検査項目		実施月
環境省 環境測定分析統一精度 管理調査	模擬水質試料	水質試験	揮発性有機化合物(ジクロロメタン, 1,2-ジクロロエチレン, 1,2-ジクロロエ タン等11項目)	7月
栃木県 試験検査精度管理調査	模擬排水試料	水質試験	BOD ふっ素	9月

イ 内部精度管理

【事業の目的・内容】

(ア) 感染症検査部門

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則，検査施設における病原体等検査の業務管理要領 等	衛生環境試験所 理化学グループ

《実績》

目的	検体	検査項目	実施月
細菌	抗体	結核 (QFT)	4月
	菌株	腸管出血性大腸菌	6月
	遺伝子	結核 (VNTR)	1月
ウイルス	遺伝子	季節性インフルエンザウイルス	4月
	遺伝子	感染性胃腸炎 (ノロウイルス)	6月
	遺伝子	鳥インフルエンザウイルス (H5N1, H7N9)	7月

(イ) 食品検査部門

食品検査部門において、「業務管理要領」及び「精度管理の一般ガイドライン」に基づき、食品添加物の添加回収試験等の内部精度管理を実施している。

理化学的検査では、食品に添加した標準品の回収率を繰り返し求める「繰り返し試験」、微生物学的検査では、食品に添加した菌を検出する「定性試験」及び添加した菌の回収率を求める「定量試験」を実施し、信頼性確保部門責任者に報告する。

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
食品衛生法第29条第2項，食品衛生法施行規則， 宇都宮市食品衛生検査業務管理要領 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》

目的		検体	検査項目	実施月
食品添加物検査	繰り返し試験	みそ	保存料 (ソルビン酸)	4月
		たらこ	発色剤 (亜硝酸根)	5月
		しょうゆ漬	甘味料 (サッカリンナトリウム)	8月
細菌検査	定性試験	弁当・そうざい	E.coli	3月
		弁当・そうざい	黄色ブドウ球菌	3月
	定量試験	牛乳	一般細菌数	3月

ウ 環境検査部門

環境検査部門において、標準物質の分析を行うことで、技能確認を実施した。

《実績》

検体	検査項目		検体数	実施月
排水標準物質	水質試験	ほう素, 全クロム, 鉄, 鉛	2	4月

エ 地域保健総合推進事業に基づく関東甲信静ブロック精度管理事業

【事業の目的・内容】

地域における健康危機管理体制確保のための地方衛生研究所の連携協力の推進並びに検査精度の向上を図る。

《実績》

目的	検体	検査項目	実施月
地域保健総合推進事業に基づく 関東甲信静ブロック精度管理事業	さばのトマトソースあえ チーズフォンデュ 赤ワイン	ヒスタミンの 定性・定量	9月

2 調査研究

調査研究事業の概要

【事業の目的・内容】

平常時から技術レベルの維持向上を図るため、多様化、高度化する試験検査に係る検査の迅速化、精度の向上等やモニタリング調査などの基礎的研究を行う。

また、国や県、他の地方衛生研究所等との共同研究に参加し、技術的・専門的な支援のための応用的研究を行う。

《実績》

年度	調査研究の内容	発表先
H27	食品事業者に対する細菌検査実習について ～研修指導機能の強化に向けて～	栃木県生活衛生関係業 績発表会
	Oasis PRiME HLB カラムを用いた鶏卵中動物用医 薬品検査法の検討	
H28	平成 28 年に宇都宮市内で検出されたノロウイル スの遺伝子解析	栃木県生活衛生関係業 績発表会
	甘味料検査における透析補助液の比較検討	
H29	宇都宮市で発生した <i>Escherichia albertii</i> による 食中毒事例について	地方衛生研究所全国協 議会関東甲信静支部細 菌研究部会
		病原微生物検出情報 Vol. 38 No. 8(2017.8)
	大規模調理施設におけるノロウイルス食中毒事例 について	栃木県生活衛生関係業 績発表会
	ヒスタミン分析法の検討	
LC-MS/MS による農産物中残留農薬等一斉分析試験 法の妥当性評価		

3 研修指導

研修指導事業

【事業の目的・内容】

検査の信頼性向上のため、依頼課が行う検体の採取から搬送、受け渡し、検体の取扱い等に関するマニュアルを作成し、依頼課職員等への技術・支援を行う。

医療機関や食品工場の検査室等民間事業者等への知識・技術の伝達、地域保健衛生分野の学生等の実習受け入れ等を行い、地域保健の推進に関する活動や学習の支援を積極的に行う。

① 依頼課への技術支援（平成 27 年度～）

《実績》

件名	内容	対象者	場所
検体取り違い対 策研修	性感染症等検体取り違い マニュアルに沿って説明	保健予防課職員 2名	保健所
食品検体採取研 修	食品検体採取マニュアル に沿って説明	生活衛生課職員 5名	食品理化学 検査室
環境水等採水研 修	環境水等採水マニュアル に沿って説明	環境保全課職員 2名 廃棄物対策課職員 2名 廃棄物処理施設整備室職員 2名	環境化学検 査室

② 民間機関等への研修指導

《実績》

件名	内容	対象者等	場所
地域保健実習	医学生等への保健衛生及び環境衛生検査についての説明及び実習	新潟大学医学部学生 1名 自治医科大学医学部 学生5名	試験所2階 臨床検査室等
病原体の包装・ 運搬講習会	感染症の病原体の輸送事故を防止するための病原体等の包装・運搬講習会	市内医療機関, 登録衛生検査所等 4事業者	保健所 大会議室

4 情報発信

情報発信事業

【事業の目的・内容】

市民の食品の安全性や感染症などへの不安解消に資するため、収集・分析した公衆衛生や調査研究に関する情報を関係機関や市民等へ発信する。

市ホームページや広報紙等の活用に加え、出前講座や親子教室等を開催して、わかりやすく迅速な情報発信の機会を拡充する。

《実績》

① イベント等の開催

件名	内容	対象者等	場所
出前講座 お届けします「衛生と環境の検査のはなし」	衛生環境試験所の業務について	地区老人会 42名	南市民活動センター
		市民6名	特別養護老人ホームはりがや花の風 地域交流スペース
夏休み親子教室 親子で発見！科学実験教室	科学実験，微生物の顕微鏡観察，衛生関係のパネル展示，手洗い体験等	小学3～4年生 親子15組31名 小学5～6年生 親子15組29名	保健所2階 栄養実習室 フロア等
食品安全フェア (生活衛生課主催)	微生物の顕微鏡観察や衛生関係のパネル展示等	市民660名	ベルモール
食育フェア (健康増進課主催)	微生物の顕微鏡観察や衛生関係のパネル展示		城址公園
小学生向け講座 科学体験教室 (城山生涯学習センター共催)	科学実験，微生物の顕微鏡観察，衛生関係のパネル展示，手洗い体験等	小学3～6年生 親子16組30名	城山生涯学習センター

② 広報活動等

広報媒体	掲載内容・活用方法
ホームページ更新	試験所の業務内容，検査に関する写真，年報等を掲載 また，市民へわかりやすく情報提供するため，食品Q&Aを追加掲載
パネル展示	写真等で試験検査に関する内容を分かりやすく紹介したパネルを保健所に展示し，来庁者や夏休み親子教室等のイベントで活用